

令和6年度 学 校 評 価 報 告

草加市立栄小学校

(令和7年2月20日作成)

1 学校教育目標	
よく考える子〔知〕 思いやりのある子〔徳・情〕 ねばり強い子〔意〕 体をきたえる子〔体〕 ～一人ひとりを大切に、さわやかで活気あふれ、それぞれの笑顔がかがやく学校～ 【キャッチフレーズ】 「さわやか かっき えがお の さかえ」	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
1 学級・学年経営の充実 2 学習指導の充実 3 豊かな心を育む指導の充実 4 健康な体づくりの推進 5 生徒指導の充実 6 開かれた学校づくりの推進 7 特別支援教育の推進	成果 ○学校教育目標の実現を目指し、全教職員が「凡事徹底」「率先垂範」「協働・協力」を合言葉に教育活動の充実に努め、児童が全体的に落ち着いて、明るく元気に学校生活を送ることができている。 課題 ●教職員一人ひとりの強みを生かし、それぞれの力が最大限に発揮されるようバランスのとれた校内組織を編成し、効率よく機能させることにより、学校のチーム力のさらなる向上に努める。

4 評価表 ※評価基準〔A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である〕				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○学校経営目標や方針について共通理解を図り、教職員が協働・協力して学校教育目標の実現を目指す学校づくりを推進した。 ○効率的な会議運営が図られ、職員が見通しをもって校務分掌を担うことができた。 ○適正な予算管理・執行ができた。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○授業スタンダードを基に、多様な学び合いを行い、互いの意見を統合し学びを深めることで、学力向上につなげることができた。 ○本発表での研究授業を軸に事前授業やブロック研究等、計画的に研究が進められた。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○定期的な防犯ブザーの点検や安全点検、災害対応避難訓練や3校合同引渡し訓練等、計画的な安全指導を実践した。 ○各種健康診断等の機会を活用し、計画的に保健指導を実施した。 ●児童の交通安全意識の向上及び危機管理マニュアルの改善を図る。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○全職員の共通理解のもと、個人情報の適切な管理が実現できている。 ●学校開放団体等の施設使用団体と連携し、より一層適切な施設管理に努める。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○授業参観・学校公開、学校だより等の各種家庭配付文書、「すぐー」等により、積極的に教育活動を公開し保護者評価で高い評価(95%)を得た。 ○学校運営協議会で計画的に授業参観や教育活動の紹介を行い、教育活動について意見を受けることで、地域とともにある学校づくりを推進した。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	A	○学び合い・認め合い・高め合いをキーワードに教育活動を実践し、児童の自己肯定感・自己有用感を高めることができた。 ○栄中学校区3校の研究組織を軸に、共通した取組を実践するとともに、幼保小中一貫だよりを発行し、家庭・地域との連携・共通理解を図ることができた。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標の実現に向け、職員全体の共通理解の基、協働して実践し、保護者評価で高い評価(93%)を得た。 余剰時数を削減し、授業時数の適正化を図るとともに、教育課程の実施状況を管理し、適切な教育活動の実施に資することができた。 ●教育目標の「ねばり強い子」の一層の実現を図る。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教科担任制を積極的に導入することで教材研究を深め、わかる授業の実現に資することができた。 ○地域の人材、外部講師等による出前授業を多く実施し、学びの充実につながられた。 ●主体的・対話的で深い学びの視点に立ち、一層の授業改善・充実を図る。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学校公開や授業参観の機会に道徳の授業を公開することで、家庭・地域と連携した道徳教育の実践が図られた。 ●「考え、議論する道徳」を一層推進し、児童の道徳的実践力を育成する。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTとの連携、ICTの積極的な活用等、授業展開の工夫が図られ、児童にとって楽しく、わかる授業が実践できた。 ●中学校の学習につながられる授業の一層の実現を図る。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○縦割り活動や集会活動で、異学年の児童同士が積極的に交流することができ、豊かな心を育むことができた。 ●児童一人ひとりが活躍でき、自己肯定感・自己有用感を感じられる学級経営の充実。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○教科横断的な学習活動やICTを積極的に活用した学習活動が実践できた。 ●今年度の実践を基に教育計画を見直し、教育活動の充実を図る。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○教室環境チェックやハートの日の取組、生徒指導委員会での情報共有等、学校全体で組織的な生徒指導ができた。 ●いじめ・問題行動や不登校の対応など、家庭とも連携した組織的な生徒指導対応を継続する。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習の機会の活用、中学生合唱披露会の実施等、取組の充実が図られた。 ●各教科等におけるキャリア教育の視点を意識した指導の一層の充実を図り、児童に育成すべき資質・能力を高める。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者と連携し、児童一人ひとりの教育ニーズに応じた個別の指導計画・教育支援計画に基づいた指導が実践された。 ○校内就学支援委員会を計画的に実施し、職員全体での児童理解が充実した。 ●配慮を要する児童について、校内の情報共有及び組織的な支援を継続する。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「この本読もう、栄っ子」や時季に応じた図書館イベント、地域の方による読み聞かせ等、多様な読書活動が実践された。 ●取組の継続・発展を図り、本に親しむ児童を一層増やしていく。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学校全体で、タブレット端末を効果的に活用した授業が実践された。 ●タブレット端末の適切使用の徹底及び情報モラル教育の一層の充実を図る。
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○集会活動や学級指導等、教育活動全体を通して人権教育を推進し、互いに認め合える児童の育成に努めた。 ●人権感覚育成プログラムを活用する等、人権教育の一層の充実を図る。

(様式1・小学校用③)

草加市立 栄 小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	①特色ある学校づくり	・地域の人材活用 ・体験活動の推進	A	○平成塾の方との連携を例年以上に進めることができた。読み聞かせや書きぞめ、茶の湯において活用でき、児童にとって、有意義な活動となった。 ○埼玉県立近代美術館や獨協大学等の他機関とも連携し、児童に直接関わる教育活動を実施した。児童にとって、有意義な活動となった。
	②学力、体力の向上	・栄っ子の基礎基本 ・学力向上のための指導法の工夫 ・体育の授業の充実	B	○体育の授業で実施している「エビカニクス体操」が児童にも定着し、意欲的に取り組む姿が見られている。 ●授業の基本となる「栄小スタンダード」を実践し児童に見通しを持たせることで学力の定着を図る。
	③一人一人を大切に、信頼関係に立った生徒指導の充実	・共通理解・共通行動で組織対応する生徒指導 ・一人一人によりそい信頼関係に立った生徒指導	B	○生徒指導委員会、教育相談部会を定期的に行い、情報共有をするとともに、S.S.W.の助言も受けながら組織的な対応が図られた。 ●教職員の情報共有を大切に、問題行動等の未然防止、早期発見、適切かつ迅速な解決に組織的・積極的に取り組む。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- 学校教育目標の実現を目指し、全教職員が教育活動の充実に努めている。保護者による学校評価では、全20項目の全てで昨年度の評価を上回り、19項目で90%以上の肯定的評価を得られた。児童も全体的に落ち着いており、明るく元気に学校生活を送ることができている。
- 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」や自校の学力向上プラン、「栄小スタンダード」に基づく授業改善を行い、学校全体としての学力向上や教職員の指導力の向上につながっている。
- 幼保小中を一貫した教育において栄中学校区として、学び合い、認め合い、高め合いをキーワードに教育実践を図り、児童の自己肯定感・自己有用感を高めることができた。
- 平成塾による読み聞かせ、茶の湯体験、書き初め指導、獨協大学生との国際交流学習、近隣の園との幼保小交流活動(給食交流会、わくわく交流会)等、本校の特色である地域人材の活用、地域との交流・連携が充実し、児童の豊かな学びにつなげることができた。
- 学校運営協議会で積極的に教育活動を公開し、「どの授業も楽しい雰囲気があり、子ども達が学校で多くのことを学んでいる。」「子ども達が自由な雰囲気です安心して授業を受けている。」「1年間で確実に成長している様子が見られる。」との評価を得た。

6 次年度の改善策

- 教職員一人ひとりの強みを生かし、それぞれの力が最大限に発揮されるようバランスのとれた校内組織を編成し、効率よく機能させることにより、学校のチーム力のさらなる向上に努める。
- 学校教育目標「ねばり強い子」がより実現できるように、児童が目標をもち、それに向かって努力し、やり遂げる機会を計画的・意図的に設定し、教育活動の一層の充実を図る。
- 今年度の研究成果を生かし、幼保小中を一貫した教育を一層推進し、栄中学校区の目指す子ども像の実現を図る。